

道徳のとびら



「差別」や「偏見」について、みなさんはどう考えますか？
もし、こんなチャットを見てしまったら・・・。

わたし

ねえねえ、うちの学校からコロナが出たらしいよ

えっ、だれなの???

この前の登校日に来なかった人とか？

たしか、Aさんが来なかったよな

熱があるから、休むって言ってたよ

やっぱりそうだよ。Aさんの家の近くの人、何か知らない？

そう言えば、最近救急車が通ったような気がするけど...

やっぱりそうだよ Aさんだよ

本当!?

でも、Aさんだったら、他の人にうつっているかもしれないよね

まあ・・・ そうだね・・・

うわ、どうしよう となりの席だよー

最悪。。。 Aさんのつくえにさわっちゃったし

オレ、こわくなってきた---

ねえ、やめよう！ こういうこと、よくないよ

Bさん

わたしは、書きこみを見て、Aさんのことが心配になってきた。このチャットのことをAさんは、知らない。この書きこみを知ったらどう思うだろう。

そんなことを考えていたら、夕食がおいしく感じられなかった。わたしは、夕食後に、いっしょに洗いものをしているお母さんに話しかけた。

お母さんは、

「Aさん、熱があって休んでいるでしょ。そんなうわさ話にまどわされてはいけないよ。本当に感せんしているとしたら、それは、Aさんにとって、とてもつらいことなんじゃないかな。」

そう言いながら、いつものリズムでおさらを洗っていた。わたしは、すすいできれいになるおさらをじっと見つめていた。

次の日、学校に行く途中、登校してきたAさんと目が合った。

新型コロナウイルス感染症に係るいじめ未然防止に向けた道徳教材
福島県教育庁義務教育課作成

浅川町立浅川小学校では、教材中の「偏見をもち、それに同調する立場」「偏見はよくないと考える立場」「事実と違う噂話をされる立場」のそれぞれの立場から考えました。

偏見をもち、それに同調する立場

言われているAさんは、かわいそうだけれども、やっぱり自分も感染したくないな。

その話、本当かも。こわくなってきた。

偏見はよくないと考える
Bさんの立場

事実と違う噂話をされる
Aさんの立場

Bさんの気持ちが分かる。Aさんの悪口を言っているのと同じだから、これはいじめと同じことだと思う。

もし、自分が言われてしまったら、すごく悲しい気持ちになると思う。

これって本当かな？Aさんが知ったら、病気よりもつらいだろうな。Aさんが心配だな。

不確定なのに、どうしてこんな話になるの。もう学校に行きたくないという気持ちだよ。

～友達や家族と話し合おう～

浅川小学校では、「その気持ちが分かる」という言葉がたくさん出てきました。友達の考えを受け止め、自分はどうか考えるか、自分を見つめながら公正、公平な態度について考えました。

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、「差別」や「偏見」が問題になっています。罹患者やその家族への誹謗中傷も後を絶ちません。もちろん、「差別」や「偏見」はいけなことです。

しかし「なぜ、差別や偏見が起きてしまうのか」「自分はどうか考えるのか」誰にでもある人間の心の弱さも思い切って打ち明けながら、友だちや家族、様々な人と話し合うことが大切です。

どの地域や学校でも、多くの行事や大会が、変更や中止を余儀なくされています。特に、最後の部活動として励んできた3年生にとっては「何のために部活動を続けてきたのだろうか」「部活動はどんな意味があるのだろうか」「コロナがなければ・・・」と思い悩む気持ちがあったのではないのでしょうか。

南相馬市立鹿島中学校では、このような状況にあっても、しっかりと活動の意味を見つめ、生徒会が主催する、部活動引き継ぎ式が行われました。

コロナ禍でも、思いを引き継ぐ 南相馬市立鹿島中学校部活動引き継ぎ式

「今必要なのは前向きな気持ちを伝えること。」

新型コロナウイルスの影響で数々の大会が中止となった3年生部員のために、生徒会で全部活動一斉の「引き継ぎ式」を企画し7月29日に実施しました。1、2年生が感謝を述べ、3年生も後輩たちに一人一人メッセージを送りました。エールを送られた後輩たちは、伝統をつなぐ決意を新たにし、3年生は、思いを伝えたことで、これからの学校生活へ向かう力にすることができました。

このような体験を通して、「感謝」や「よりよい学校生活」についての学びを深めています。



生徒会役員で、今できることについて意見を出し合い、企画しました。みんなの様子を見て、この会を企画して本当によかったと思いました。様々な制限がある中でも、今できることを考え、行動する生徒会の仲間や、企画に全校生で協力できる鹿島中学校の伝統を、これからも続けてほしいと思います。

鹿島中学校生徒会長 加藤 志歩

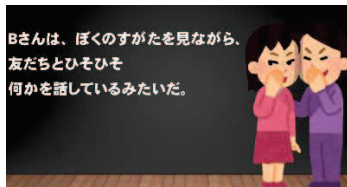
中体連がなくなり、不安の中で部活動に参加していましたが、最後の大会の前に行われた引き継ぎ式を通して、下級生からの思いが聞け、気持ちを高め合って大会に挑むことができました。また、3年生から後輩へ、一人一人の思いを伝えられてよかったです。

鹿島中学校バレーボール部長 但野 ほなみ

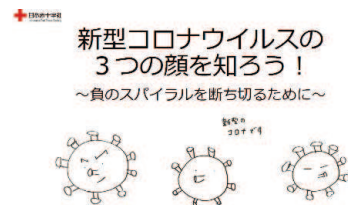
あなたならどう考えますか？ ぜひ教材やサイトを御活用ください！！

学校で学習したことをもう一度家庭で話し合ったり、大人が子どもと一緒に考えたりすることが大切です。親子で話し合うきっかけになる情報をお知らせします。

以下のサイトをぜひご覧ください。



県教育委員会 新型コロナウイルス感染症に係るいじめ未然防止教材
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/edu/gimukyoku57.html>



日本赤十字社
http://www.jrc.or.jp/activity/saigai/news/200326_006124.html



お家が子どもの安全基地になるために ～新型コロナ禍の中の子どものストレスと対応～

福島大学人間発達文化研究科 安部郁子

「最近、子どもの様子がおかしい」と感じることはありませんか。これは、ストレスによるものかもしれません。新型コロナをめぐるストレスは、行動の制限や、新型コロナへの不安、恐れ、心配からきていることが多いのです。子どものサインに気づき、不安や恐れを受け止め、一緒に対処法を考えてください。お家は子どもにとっての居場所であり、安全基地なのです。対処法でお勧めなのは、教育庁のHPに掲載してある「リラクゼーション（呼吸法）」です。是非、お子さんと一緒にやってみてください。新型コロナに対する不安や恐れは、「デマ」や「偏見」「差別」を生み出し、SNSなどで拡散されることがあります。社会心理学的に考えると、ある人を攻撃することで、自分が抱える不安や恐怖を軽くしようとする無意識の行動です。こうした行動は人を激しく傷つけます。子どもと、なぜ人を「差別」してはいけないのか話し合ってください。また、医療従事者や新型コロナと闘っている人たちへの感謝を話し合ってください。まずは、子どもたちの抱えきれない不安や恐れからの「SOS」に気づいて、しっかりと受け止めてほしいと思います。

※ 県教育委員会 新型コロナに負けないストレス対処法
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/edu/manabinohosyou.html#suto>